

## 仙台市図書館振興計画 2022（第三次）に基づく取組み状況と自己評価

仙台市図書館振興計画 2022（第三次）に基づく取組み状況について、施策ごとに「事業実績」「協議会の意見」「今後の取組み等」を記載するとともに、図書館としての自己評価を付した。

### 【各項目の説明】

- ①事業実績…令和4年度以降の主な取組みについて記載。参考数値として、振興計画（第二次）の最終年度である令和3年度の数値と、昨年度（令和6年度）の数値（速報値）を掲載。
- ②協議会の意見…各年度の事業報告書に対する意見など、図書館協議会の意見を施策ごとに記載。
- ③今後の取組み等…今後進めるべき取組み等を記載。

【市図書館の自己評価】 ○「計画通り進んでいる」、△「更なる取組みが必要である」で評価。

### 【方向性ごとの施策と図書館の自己評価一覧】

1 地域や市民に役立つ図書館となるために	図書館の自己評価
(1) 生涯学習を支援する基盤施設としての図書館サービスの充実に取り組みます	○
(2) 課題解決に取り組む市民の学びをサポートします	○
(3) 地域の歴史や魅力を継承・発信し、未来の地域づくりに貢献します	○
(4) 多様な機関と連携し、「学都仙台」の活力を向上します	○

2 0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館となるために	図書館の自己評価
(1) 乳幼児から読書に親しみ、豊かな感性を育む機会を提供します	△
(2) 障害のある子どものニーズに応じたサービスを提供します	○
(3) ヤングアダルト世代の読書活動、学習活動を支援します	○
(4) 学校との連携を推進し、子どもの読書環境、学習環境の向上を支援します	○
(5) 家庭、地域等と連携し、子どもの創造性を育む読書活動を支える環境づくりを進めます	○

3 市民一人ひとりに利用しやすい図書館となるために	図書館の自己評価
(1) どこに住んでいても図書館サービスが利用できる環境の整備に取り組みます	△
(2) あらゆる人に使いやすい図書館サービスを推進します	○
(3) ICT 環境の進展など社会環境の変化を踏まえたサービスを提供します	○

4 自らの変革を進める図書館となるために	図書館の自己評価
(1) 市民の財産としての資料を計画的に収集・保存し、活用します	△
(2) めざす図書館像を市民と共有し、ともに図書館づくりを進めます	○
(3) 図書館資源を適正に配分・管理し、最大限に活用します	△
(4) 図書館サービスの評価・分析を行いながら図書館経営を行います	○
(5) 図書館職員に求められる資質と専門性の向上に努めます	○

## 方向性1 地域や市民に役立つ図書館となるために

### (1) 生涯学習を支援する基盤施設としての図書館サービスの充実に取り組みます

【評価】

○

#### ①事業実績

- ・あらゆる世代の学びを支える資料の収集・提供、特色ある書棚づくり、資料案内やブックリストの発行、図書館ごとの分担収集分野を生かした講座・展示等の実施
- ・各区役所、総合支所との連携による、市外からの転入者を対象とした図書館利用案内及び電子図書館利用案内の配布（令和4年度～）
- ・電子雑誌閲覧サービスの開始（令和4年度～）、イベントの動画配信（令和5年度～）やおはなし会のオンライン開催（令和3年度～）等、非来館型サービスの拡充

	令和3年度	令和6年度
利用者数	1,343,640人	1,437,411人
貸出冊（点）数	4,163,548冊・点	4,070,279冊・点
蔵書冊数	2,084,588冊	2,088,584冊

#### ②協議会の意見

- ・幅広い年齢層を対象とした事業を実施することにより、何歳からでも本と触れ合うきっかけを作ることができる取組みはすばらしい。
- ・図書館は本の管理から、調べ学習にも対応できるような広がりが出てきて、その後、外に出向いていく移動図書館、最後はコミュニティの場を作る。基本は守りつつ、どんどん進化している姿がある。図書館が持っている潜在力をどうやって世の中のニーズと連携させていくか、知恵を働かせる面白いポイントになると思う。

#### ③今後の取組み等

- ・本とふれあうきっかけづくりに資するよう、資料の収集・提供やイベントの開催等のほか、新たに取組んだ非来館型サービスについて継続して取り組む。
- ・人生100年時代を踏まえた市民の多様な学びの支援のため、講演会のオンライン開催等、情報発信のあり方について検討を行う。

### (2) 課題解決に取り組む市民の学びをサポートします

【評価】

○

#### ①事業実績

- ・国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスの全館での提供
- ・窓口でのレファレンスサービスや、パスファインダーの作成・更新、レファレンス事例集「本の道案内」の発行、ホームページへの掲載等によるレファレンス情報の提供
- ・関係機関や各種団体と連携した講座やセミナーの開催、図書館資料やリーフレット・啓発ポスターの展示等、SDGs関連催事等へのブース出展（令和4年度～）等の実施
- ・各種オンラインデータベースの提供、活用講座の開催

	令和3年度	令和6年度
レファレンス件数	37,120件	35,095件

#### ②協議会の意見

- ・どんな連携事業でもその関連書籍を展示できるのは図書館の強みであり、連携する関係機関にとっても図書館が頼りになる存在となる。図書館が持つ強みを生かした連携事業を進めてほしい。
- ・図書館には本を通じて困っていること、調べたいことの解決を手助けしてくれるレファレンス機能があることが図書館の専門性であり役割である。

#### ③今後の取組み等

- ・レファレンスサービスの利用促進に向け、オンラインデータベース活用講座の充実等に取り組む他、図書館等公衆送信サービスに関する調査研究や国立国会図書館のレファレンス協同データベースへの積極的な事例登録を行う。
- ・関係機関等と連携した講座や資料展示等の実施にあたり連携する機関の拡充を図る。
- ・SDGsに関する資料展示や関連イベントへのブース出展等に継続して取り組むとともに、発信の強化を図る。

(3) 地域の歴史や魅力を継承・発信し、未来の地域づくりに貢献します		【評価】 ○									
①事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土資料の収集や展示、広報紙「郷土のかぜ」の発行、関係機関や地元の出版社等との連携による震災文庫や郷土史をテーマとしたイベントや、地域情報を有する専門機関等との連携による地域の魅力の再発見を目的としたイベントの開催</li> <li>・東日本大震災の関連資料による「3.11 震災文庫」及び各館震災コーナーの充実と活用</li> <li>・震災に関する資料展示や写真パネル展示、市政だよりへの「3.11 震災文庫を読む」の掲載とホームページでの情報発信、せんだいメモリアル交流館での資料展示や連携事業の実施、仙台防災未来フォーラムへのブース出展</li> <li>・せんだい電子図書館における「郷土資料」「震災文庫」にかかる資料収集・提供と、トップページへの専用バナー設置</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">令和3年度</th> <th style="text-align: center;">令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>郷土資料コンテンツ数・蔵書数</td> <td style="text-align: center;">112点・87,454冊</td> <td style="text-align: center;">167点・91,194冊</td> </tr> <tr> <td>震災文庫コンテンツ数・資料数</td> <td style="text-align: center;">106点・13,967点</td> <td style="text-align: center;">126点・14,726点</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度	令和6年度	郷土資料コンテンツ数・蔵書数	112点・87,454冊	167点・91,194冊	震災文庫コンテンツ数・資料数	106点・13,967点	126点・14,726点	
	令和3年度	令和6年度									
郷土資料コンテンツ数・蔵書数	112点・87,454冊	167点・91,194冊									
震災文庫コンテンツ数・資料数	106点・13,967点	126点・14,726点									
②協議会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・震災が発生すると関心が高まり、震災関連の資料の利用が増えるので、発信し続ける必要がある。</li> <li>・貴重な東日本大震災関連の資料を所蔵しているので、震災のつながりを持ち続ける事業を継続して実施してほしい。</li> <li>・デジタル化した貴重な資料のアーカイブ等が学校の授業で活用されるようになることで、電子図書予算が増えることにつながればよいと思う。</li> </ul>										
③今後の取組み等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土資料や震災文庫にかかる資料の収集や展示、郷土史や震災をテーマとしたイベント等連携事業、電子図書館等を活用した郷土資料・震災文庫の提供等について継続して実施するとともに、広報・発信の強化に努める。</li> <li>・郷土資料の電子化を進め、ホームページ内のデジタルライブラリーの充実を図る。</li> <li>・外部機関主催イベントへのブース出展等により、震災文庫の周知・利用促進を図る</li> </ul>										
(4) 多様な機関と連携し、「学都仙台」の活力を向上します		【評価】 ○									
①事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮城教育大学附属図書館との資料の相互貸借の実施</li> <li>・大学・短期大学等のインターンシップの受入、施設見学の受入、講義協力等の実施</li> <li>・仙台高等専門学校との連携事業の実施、市民センター等の社会教育機関との連携による各種講座の開催やボランティア活動の支援</li> </ul>										
②協議会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民センターと連携し、講座に関連した書籍の展示をしたり、イベントに出張したり、連携の機会を生かしながら活動していると思う。</li> </ul>										
③今後の取組み等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学図書館との資料の相互貸借や大学等における出前講座等の実施等、大学等教育機関と連携した事業に取り組むとともに、連携の拡充について検討する。</li> <li>・博物館や市民センター等、社会教育機関等と連携した事業に取り組み、図書館サービスの発信に努める。また、事業の拡充について検討する。</li> </ul>										

## 方向性2 0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館となるために

### (1) 乳幼児から読書に親しみ、豊かな感性を育む機会を提供します

【評価】

△

#### ①事業実績

- ・ブックリスト「あかちゃんと楽しむはじめての絵本」のホームページへの掲載、3～4か月児育児教室等での配布
- ・ボランティア団体との連携による、妊娠期の親を対象としたマタニティおはなし会や「にこにこ赤ちゃん・えほんのひろば」（令和4年度～）等の開催
- ・乳幼児向け読み聞かせボランティア養成講座の実施（令和4年度～）
- ・おはなし会のオンライン開催（再掲）
- ・家庭文庫・地域文庫への資料の貸出、保育所等への譲渡による除籍資料の活用

	令和3年度	令和6年度
乳幼児向けおはなし会 (実施回数・参加延べ人数)	133回・1,110人	244回・3,143人
幼児向けおはなし会 (実施回数・参加延べ人数)	344回・3,085人	494回・6,011人
乳幼児と保護者向け事業 (実施回数・参加延べ人数)	15回・160人	19回・252人

#### ②協議会の意見

- ・全館連携事業「にこにこ赤ちゃん・えほんのひろば」のような子育てをサポートするような取組みは重要だ。
- ・ブックスタート事業により、子どものための絵本を初めて手にする保護者は少なくない。家庭環境にかかわらず、家に1冊でも本があることは子どもに及ぼす影響が違うので、できれば実現してほしい。
- ・子どもが小さいうちから図書館を利用してもらうためには、保護者にその意識を持ってもらう必要があり、自ら情報を取りに行かない方への働きかけを考えることが大事。
- ・乳幼児向けイベントやアウトリーチ型イベント事業について、協議会でも重要視してきたが、これまでの議論が反映され非常に増えた。意識的に計画した成果だ。

#### ③今後の取組み等

- ・乳幼児から読書に親しむ機会を提供するため、「にこにこ赤ちゃん・えほんのひろば」のほか、絵本を通じた乳幼児と保護者のふれあい事業の拡充、及び図書館利用促進に向けた事業の実施や広報の充実について検討する。
- ・乳幼児向けイベントやアウトリーチ事業、妊娠期の親への読書支援等を継続実施する。
- ・除籍本の有効活用等による保育所等への読書活動の支援を継続実施する。

### (2) 障害のある子どものニーズに応じたサービスを提供します

【評価】

○

#### ①事業実績

- ・バリアフリー資料（触る絵本や点字付き絵本、LLブック、マルチメディアデイズ等）の収集・貸出、所蔵リストのホームページへの掲載
- ・せんだい電子図書館における「（音声読み上げ機能付）うごくえほん」の貸出と、トップページへの専用バナーの設置
- ・手話をつかったおはなし会の実施
- ・「りんごの棚（アクセシブルな資料のコーナー）」の設置（令和6年度～）
- ・特別支援学校・特別支援学級貸出の実施と、貸出資料周知用チラシの作成及び市内特別支援学校と市立小・中学校の特別支援学級への配布

	令和3年度	令和6年度
特別支援学校・学級専用資料 (貸出回数・貸出数)	57回・2,049冊/点	79回・3,614冊/点

#### ②協議会の意見

- ・特別支援学校への資料貸出しの充実やアウトリーチ型事業等、障害や発達障害のある子どもたちの後押しができるような取組みを考えてほしい。
- ・図書館の支援は、身体的な障害のある方への支援が多いと感じる。知的障害のある子

	<p>どもたちを含めたすべての障害のある方への施策を推進してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害のない方にも取組みを知っていただくための「りんごの棚」は全国的に展開されているが、仙台市図書館でも普及していただければと思う。</li> </ul>
③ 今後の取組み等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知的障害や発達障害のある子どもも利用しやすいバリアフリー資料の収集や手話付きおはなし会など障害のある子どもも参加しやすいイベントの実施、及び電子図書館等サービスの充実など、障害のある子どもが本に触れる環境の整備や障害がある子どもへの理解を深めるための取組みを進める。</li> <li>・特別支援学校等向け資料の充実やリストの更新、利用しやすい環境を引き続き整備し、ニーズに応じた対応とホームページ等の活用による広報の強化に務める。</li> </ul>
<b>(3) ヤングアダルト世代の読書活動、学習活動を支援します</b>	
<b>【評価】</b> ○	
①事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公募による中高生実行委員と協働した児童文学者講演会の企画・運営（令和6年度）</li> <li>・中高生ボランティアや図書館サポーターの活動支援（図書館業務の体験、おすすめ本のリスト作成や選書支援等）、おすすめ本紹介投稿の展示等での活用</li> <li>・図書館ホームページ「ヤングアダルト中高生のページ」やXでの中高生向けイベントの情報発信、せんだい電子図書館の中高生向けコンテンツの充実、電子図書館トップページへの「ヤングアダルト YA 文庫」バナーの設置</li> <li>・「10代のためのこころのサプリ」「『いじめ・命』に向き合う本のリスト」のホームページへの掲載と市立中・高校へのデータ配信</li> <li>・中学校1年生向け、高等学校1年生向け図書館利用案内の配付</li> </ul>
②協議会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童文学者講演会は大変すばらしい内容で大いに盛り上がった。</li> <li>・学校以外の活動として、図書館に来ると面白いことがありそうだという期待を YA 世代の利用者に感じてもらえる企画はすばらしいと思う。図書館ベースでコミュニティを作る仕掛けを考えてもらえれば、学校以外の居場所になる。</li> <li>・中高生は勉強以外で図書館を利用することが少ないので、自分たちで企画運営する主体的な取組みは、その年代にとって波及効果が大きいのでぜひ続けてほしい。</li> <li>・実行委員として企画運営した中高生たちを見て、かっこいいと思った小学生がいるのは、今後の明るいニュースになる。子どもたちを取りまとめる職員は大変だったと思うが今後も続けてほしい。</li> </ul>
③今後の取組み等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生自ら事業を企画・運営するなど主体的に活動できる機会を継続的に提供する。</li> <li>・ホームページや SNS、地域の新聞社の紙面等を活用し、中高生向けおすすめの本の紹介など読書活動推進に向けた広報を推進する。</li> <li>・中高生向け資料の充実や特集展示の実施等、魅力的なヤングアダルトコーナーづくりとともに、電子図書館の中高生向けコンテンツの充実を図る。</li> </ul>
<b>(4) 学校との連携を推進し、子どもの読書環境、学習環境の向上を支援します</b>	
<b>【評価】</b> ○	
①事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立全小学校の4年生や希望する中学校等を対象としたブックトークの実施</li> <li>・ブックトークボランティアによるブックトークの実施</li> <li>・朝読パックやテーマ別パック（防災、仕事、キャリア教育等）、授業用図書貸出など学校貸出サービスと学校貸出図書配送サービス（配送業務委託）の実施</li> <li>・せんだい電子図書館利用に際し、市立小、中学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校等への特別利用 ID の付与（令和4年度～）</li> <li>・市立小、中学校等の教職員を対象とした電子図書館利用研修会の実施（令和4年度～）</li> <li>・公共図書館利用学習（図書館見学、調べ学習）、職場見学や体験学習の受入</li> <li>・小学校1年生向け図書館利用案内と「りようしゃカードひきかえけん」の配布、来館児童へのようこそシールの配布</li> <li>・無償譲渡会開催による除籍済資料の有効活用（小学校への提供）</li> </ul>

	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書館職員による小中校へのブックトーク(利用校)</td> <td>123校</td> <td>128校</td> </tr> <tr> <td>ボランティアによる小中高、児童館へのブックトーク(利用校)</td> <td>20校(団体)</td> <td>30校(団体)</td> </tr> <tr> <td>学校貸出サービス(延べ回数)</td> <td>575校</td> <td>628回</td> </tr> <tr> <td>公共図書館利用学習受入校(延べ校数)</td> <td>59校</td> <td>68校</td> </tr> <tr> <td>除籍本有効活用無償譲渡会(小学校)提供数</td> <td>15校・1,982冊</td> <td>13校・1,195冊</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度	令和6年度	図書館職員による小中校へのブックトーク(利用校)	123校	128校	ボランティアによる小中高、児童館へのブックトーク(利用校)	20校(団体)	30校(団体)	学校貸出サービス(延べ回数)	575校	628回	公共図書館利用学習受入校(延べ校数)	59校	68校	除籍本有効活用無償譲渡会(小学校)提供数	15校・1,982冊	13校・1,195冊
	令和3年度	令和6年度																	
図書館職員による小中校へのブックトーク(利用校)	123校	128校																	
ボランティアによる小中高、児童館へのブックトーク(利用校)	20校(団体)	30校(団体)																	
学校貸出サービス(延べ回数)	575校	628回																	
公共図書館利用学習受入校(延べ校数)	59校	68校																	
除籍本有効活用無償譲渡会(小学校)提供数	15校・1,982冊	13校・1,195冊																	
②協議会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館を生涯利用するきっかけを学校が作るというのは、効果が高い。図書館は子どもたちにとって豊かな場所になる。コミュニティの場にするためには、その図書館のコミュニティや地域性、足を運びやすい立地も踏まえて、それぞれの館に合わせた取組みを行うべきだ。</li> <li>学校図書館に携わる先生対象にブックトークを体験する研修を行った。先生方も楽しさを実感できたことで、中学校からのブックトークの申込みが増えたと聞いている。学校としても学校図書館を魅力的にする取組みについて実施していきたい。</li> </ul>																		
③今後の取組み等	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブックトークや学校貸出、電子図書館の特別利用ID付与等、学校連携事業の他、子どもの利用増進のきっかけづくりとして、小学校1年生向け図書館利用案内や「りようしゃカードひきかえけん」の配布等を継続して実施する。</li> <li>学校で電子図書館を利用しやすい環境の整備として、電子図書館の読み放題パックの更新等、電子図書館のコンテンツの充実を図る。</li> <li>教科書改訂に合わせた資料の入れ替え等、調べ学習や読書活動に資する支援を行う。</li> </ul>																		
<b>(5) 家庭、地域等と連携し、子どもの創造性を育む読書活動を支える環境づくりを進めます</b>																			
	<b>【評価】</b> ○																		
①事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども読書支援パックの貸出、内容の充実</li> <li>子育てふれあいプラザ「のびすく」や児童館等と連携したおはなし会の実施、児童館等主催子ども読書活動事業への職員派遣</li> <li>子ども読書フェスティバル(春・秋)や児童文学者講演会など全館連携事業の実施</li> <li>プロスポーツチームとの連携による観戦優待特典付き読書通帳の作成(令和4年度)</li> <li>35年以上読み継がれた絵本リストの作成・配布(令和5年度)</li> <li>夏休み等の長期休暇を利用した体験型イベント開催による子どもの居場所づくり</li> <li>子供図書室を中心としたボランティア養成講座開催等の事業の充実</li> <li>ホームページやXを活用した読書活動に関する情報の発信</li> <li>自書式読書通帳の配布と1冊終了ごとの認定シールの貼付</li> <li>せんだい電子図書館の児童向けコンテンツの充実</li> <li>地元新聞社との連携による、中高生向けおすすめ本の紹介事業(令和6年度～)</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>のびすく等と連携したおはなし会</td> <td>17回・260人</td> <td>34回・911人</td> </tr> <tr> <td>子ども読書活動事業への職員派遣</td> <td>8件</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>読書通帳配布数</td> <td>17,495枚</td> <td>17,495枚</td> </tr> <tr> <td>子ども読書支援パック</td> <td>65種類・179パック・328回</td> <td>67種類・183パック・314回</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度	令和6年度	のびすく等と連携したおはなし会	17回・260人	34回・911人	子ども読書活動事業への職員派遣	8件	13件	読書通帳配布数	17,495枚	17,495枚	子ども読書支援パック	65種類・179パック・328回	67種類・183パック・314回			
	令和3年度	令和6年度																	
のびすく等と連携したおはなし会	17回・260人	34回・911人																	
子ども読書活動事業への職員派遣	8件	13件																	
読書通帳配布数	17,495枚	17,495枚																	
子ども読書支援パック	65種類・179パック・328回	67種類・183パック・314回																	
②協議会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>今は地域社会の中で体験が少なくなっているが、実体験が伴うことで言葉は非常に深く、力強く子どもたちの中に入っていくので、本との出会いは早い方がよい。どこかがそのような機会を提供しないと体験できない世の中になっているので、体験型事業は大事だ。</li> <li>電子図書館は、すぐに手に取れ、調べ学習もすぐできる利点はあるが、生の声で関わ</li> </ul>																		

	り合うのも大事だ。結果をすぐに求めてしまいがちだが、読み聞かせをきいていた子が親になり自分の子どもに読み聞かせをするようになるかもしれない。読み聞かせは未来へ種をまく仕事で、長いスパンで考えるべきだ。
③今後の取組み等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子図書館の児童向けコンテンツの充実、体験型イベントの充実、SNS等を活用した情報の発信など、子どもの読書活動を支えるさまざまな取組みを推進する。</li> <li>・「家読（うちどく）におすすめの本」のリストの更新等、家庭での読書活動を支援する。</li> <li>・子ども読書フェスティバル等、子どもが本に親しみ、継続的な読書活動につなげるための取組みを推進する。</li> </ul>

### 方向性3 市民一人ひとりに利用しやすい図書館となるために

(1) どこに住んでいても図書館サービスが利用できる環境の整備に取り組みます		【評価】 △																		
①事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中田サービススポットの運営、荒井サービススポットの開設（令和5年度～）</li> <li>・移動図書館車更新（令和5年度：1台）と車両を活用したアウトリーチ事業の実施</li> <li>・移動図書館車のサービス箇所の見直し、地域のイベント等への特設巡回の拡充</li> <li>・せんだい電子図書館の運営と電子雑誌閲覧サービスの運用開始（令和4年度～）、及び行政資料（冊子やパンフレット等をデータ化）の登録（令和5年度～）</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">令和3年度</th> <th style="text-align: center;">令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分室利用者数（※松陵、黒松、長命ヶ丘はR6年度中休館期間あり）</td> <td style="text-align: center;">26,665人</td> <td style="text-align: center;">22,648人</td> </tr> <tr> <td>中田サービススポット利用者数</td> <td style="text-align: center;">3,003人</td> <td style="text-align: center;">4,312人</td> </tr> <tr> <td>荒井サービススポット利用者数</td> <td style="text-align: center;">4,748人</td> <td style="text-align: center;">8,420人</td> </tr> <tr> <td>移動図書館延べ利用者数</td> <td style="text-align: center;">23,990人</td> <td style="text-align: center;">25,132人</td> </tr> <tr> <td>電子図書館コンテンツ数・貸出数</td> <td style="text-align: center;">3,322点・15,726点</td> <td style="text-align: center;">4,183点・29,819点</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度	令和6年度	分室利用者数（※松陵、黒松、長命ヶ丘はR6年度中休館期間あり）	26,665人	22,648人	中田サービススポット利用者数	3,003人	4,312人	荒井サービススポット利用者数	4,748人	8,420人	移動図書館延べ利用者数	23,990人	25,132人	電子図書館コンテンツ数・貸出数	3,322点・15,726点	4,183点・29,819点	
	令和3年度	令和6年度																		
分室利用者数（※松陵、黒松、長命ヶ丘はR6年度中休館期間あり）	26,665人	22,648人																		
中田サービススポット利用者数	3,003人	4,312人																		
荒井サービススポット利用者数	4,748人	8,420人																		
移動図書館延べ利用者数	23,990人	25,132人																		
電子図書館コンテンツ数・貸出数	3,322点・15,726点	4,183点・29,819点																		
②協議会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子書籍は、図書館買い取り型と貸出数制限型があり、それぞれの特徴があるので、コンテンツの入れ替えやそろえ方は難しいと思うが、他都市の事例などを参考にすることで利用者が使いやすい方法を検討してほしい。</li> <li>・荒井サービススポットの設置や移動図書館の充実については、新しい図書館をつくるのが難しい中で、よく工夫している。移動図書館の巡回によって、地域の隅々にまで文化が届けられていくことはすばらしいことだ。</li> <li>・郷土資料、震災資料や過去の資料等も電子化することで、仙台市のデータベースが進み新規利用者の開拓が期待できると思うので検討してほしい。</li> </ul>																			
③今後の取組み等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分室及びサービススポットの利用促進や市民センター図書室との連携、移動図書館の駐車場の適宜見直し等、住まいの場所にかかわらず図書館サービスが利用できる環境の整備に取り組む。</li> <li>・分室及びサービススポットにおける図書館サービスの今後のあり方について研究する。</li> <li>・イベントへのブース出展等、移動図書館車を活用したアウトリーチ事業の拡大を図る。</li> <li>・電子図書館やオンラインサービス等非来館型サービスの推進と利用促進を図る。</li> </ul>																			

(2) あらゆる人に使いやすい図書館サービスを推進します		【評価】 ○																		
①事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大活字本の収集、高齢者に関心が高い分野をテーマとした資料展示やブックリストの配布、講座の開催</li> <li>・拡大読書器や筆談ボード等の全館設置と、耳マークの新たな設置、カウンター案内表示への英語併記</li> <li>・障害者向け郵送貸出サービス、視覚障害のある方への朗読ボランティアによる対面朗読サービス、デイジー資料の作成・貸出、専用の再生機の貸出、音声読み上げ機能付きの電子書籍の充実</li> <li>・外国語の資料や外国語絵本等の資料の充実、外国人向け利用案内の全面改訂、電子図書館の「外国語資料あんない」の作成・配布(令和5年度～)、外国語によるおはなし会ややさしい日本語による図書館ツアー等の開催とやさしい日本語にかかる職員研修の実施</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大活字本蔵書数</td> <td>9,236冊</td> <td>10,086冊</td> </tr> <tr> <td>郵送貸出サービス</td> <td>3,911人・9,948冊/点</td> <td>4,863人・11,397冊/点</td> </tr> <tr> <td>デイジー資料作成数・累計</td> <td>615点・2,333点</td> <td>177点・2,942点</td> </tr> <tr> <td>対面朗読サービス</td> <td>64回</td> <td>253回</td> </tr> <tr> <td>外国語資料蔵書数</td> <td>4,805冊</td> <td>4,974冊</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度	令和6年度	大活字本蔵書数	9,236冊	10,086冊	郵送貸出サービス	3,911人・9,948冊/点	4,863人・11,397冊/点	デイジー資料作成数・累計	615点・2,333点	177点・2,942点	対面朗読サービス	64回	253回	外国語資料蔵書数	4,805冊	4,974冊	
	令和3年度	令和6年度																		
大活字本蔵書数	9,236冊	10,086冊																		
郵送貸出サービス	3,911人・9,948冊/点	4,863人・11,397冊/点																		
デイジー資料作成数・累計	615点・2,333点	177点・2,942点																		
対面朗読サービス	64回	253回																		
外国語資料蔵書数	4,805冊	4,974冊																		
②協議会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害だけでなく何らかの理由で図書館に来られない方たちに向けた取組みを推進してほしい。</li> <li>・仙台市に住む外国にルーツのある方は増えている。図書館が日本語習得の助けになったり、外国の書籍に触れたりできる。図書館を通じてお互いが良い関係になれるような取組みができればよい。</li> <li>・地域包括支援センター等との連携で高齢者にアプローチしていく取組みは、とても素晴らしい。まさに読書バリアフリーを実現するような取組みだ。得られた効果を各図書館でも取り入れてほしいと思う。</li> </ul>																			
③今後の取組み等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大活字本の収集や高齢者向け行事の実施等、超高齢化に即した図書館サービスを継続して実施し、サービスの充実に努める。</li> <li>・各種機器の設置や資料の収集・貸出、郵送貸出サービス等、障害者サービスの継続実施と広報の強化に努め、読書バリアフリーの観点に立った図書館サービスを推進する。</li> <li>・外国語資料の収集やイベントの実施、留学生等外国人に向けた情報発信等により、国際化社会に対応したサービスの充実に努める。</li> </ul>																			
(3) ICT 環境の進展など社会環境の変化を踏まえたサービスを提供します		【評価】 ○																		
①事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公式動画チャンネル「せんだい Tube」における動画配信（せんだい電子図書館の利用案内（令和4年度～）、閉館後の図書館を活用したイベント（令和5年度～））</li> <li>・電子図書館の使い方講座の開催、和書資料の電子化と「図書データベース」との連携</li> <li>・電子雑誌閲覧サービスの利用促進に向けた、閲覧可能リストの作成と、せんだい電子図書館サイト・ホームページ・Xによる情報発信（令和5年度～）、雑誌コーナーへの二次元コード掲示（令和5年度～）</li> <li>・おはなし会のオンライン開催（令和3年度～）（再掲）</li> </ul>																			

②協議会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子サービスの大きな目的は、非来館型サービスであり、単なる DX の一環ということではなく、図書館に行きにくい方にも図書館のコンテンツを届けるサービスのひとつと捉えることはとても大事だ。</li> <li>・図書館は様々な情報を市民に提供して知る権利、知る機会を保障していく役割を担っているが、図書館の活用の仕方について、図書館がもっと情報提供し、活用してもらうために広報が必要だ。</li> </ul>
③今後の取組み等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等の動画配信等を継続し、オンラインサービスの拡充を図る。</li> <li>・Wi-Fi の導入など、ICT 環境の進展を踏まえた館内サービスのあり方を検討する。</li> <li>・電子図書館の使い方講座やデータベース活用講座、利用者用端末（OPAC）の使い方講座の実施等により、利用者の利便性の向上を図る。</li> <li>・ホームページや SNS、YouTube 等、インターネットを活用し、発信の強化を図る。</li> </ul>

## 方向性 4 自らの変革を進める図書館となるために

(1) 市民の財産としての資料を計画的に収集・保存し、活用します		【評価】 △												
①事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蔵書構成を考慮した資料の収集、各館の分担収集分野による資料配置</li> <li>・仙台ゆかりの作家や震災関連等、仙台らしさを意識した特色ある資料の収集</li> <li>・せんだい電子図書館における、「3.11 震災文庫」「仙台郷土資料」など地域に根差した資料の収集やバナー設置</li> </ul>													
②協議会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蔵書に関する特段の不満が出ていないのは、丁寧に本を扱っている、本の価値をよく理解して図書館を運営されているということだと思う。</li> <li>・電子書籍がどんどん広がれば書店はなくなってしまう。紙の本が読めなくなるかもしれない大きな転換点になる。世の中のニーズなどにもある程度合わせながら、紙と電子書籍のバランスを考えていかなければならない。</li> </ul>													
③今後の取組み等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仙台市図書館資料収集方針等に基づき、また利用者のニーズも踏まえながら、資料の収集・保存、除籍本の有効活用等を行い、長期的に適切な蔵書構成の維持に努める。</li> <li>・視聴覚資料の今後のあり方について検討を行う。</li> <li>・地域の特色を生かした電子図書館であるよう、電子図書館の震災関連資料や郷土資料のコンテンツの充実を図る。</li> </ul>													
(2) めざす図書館像を市民と共有し、ともに図書館づくりを進めます		【評価】 ○												
①事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者によるおすすめ本の紹介やイベントへの参画等、市民参加型事業を実施</li> <li>・地元企業や市民団体等と連携したイベントや講座の実施</li> <li>・各種ボランティア講座の実施（ブックトーク、読み聞かせ、ストーリーテリング、対面朗読等）とボランティアとの協働による図書館運営</li> <li>・乳児向け読み聞かせ講座の新たな実施と、受講者の各館おはなし会での実演</li> </ul> <table border="1" data-bbox="424 1756 1418 1921"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子ども読書活動推進</td> <td>669人</td> <td>1,217人</td> </tr> <tr> <td>ボランティア延べ活動人数</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>拡大写本の作成</td> <td>1タイトル,3分冊</td> <td>1タイトル,4分冊</td> </tr> </tbody> </table>			令和3年度	令和6年度	子ども読書活動推進	669人	1,217人	ボランティア延べ活動人数			拡大写本の作成	1タイトル,3分冊	1タイトル,4分冊
	令和3年度	令和6年度												
子ども読書活動推進	669人	1,217人												
ボランティア延べ活動人数														
拡大写本の作成	1タイトル,3分冊	1タイトル,4分冊												
②協議会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の役割として、本を通じた図書館的「場」を地域に作る事ができれば、図書館が近くになくとも、そこで図書館が取り組んでいるノウハウが生かされると思う。</li> <li>・活動の機会があるとボランティアは育っていくので、活動の場はこれからも企画してほしい。</li> </ul>													

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仙台市立小学校（4学年以外）の依頼のあった学校へのブックトークはボランティアが行っており、公立図書館とボランティアがこのような連携しているのは、全国的にも非常に珍しいケースのようだ。今後も良い関係を維持してほしい。</li> </ul>												
③今後の取組み等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民参加型事業の実施について拡充に努める。</li> <li>・地元企業や市民団体等との連携の促進を図る。</li> <li>・各種ボランティアの養成と活躍の場の提供等の活動支援を行い、多様なボランティアとの協働による図書館運営を推進する。</li> </ul>												
<b>(3) 図書館資源を適正に配分・管理し、最大限に活用します</b>													
<b>【評価】</b> △													
①事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館システムの機器更新（令和4年度）と安定的なサービスの提供</li> <li>・指定管理者制度を活用した官民連携による効果的・効率的な図書館運営</li> <li>・指定管理者制度の更なる活用及び直営館の機能強化にかかる検討と方針の決定</li> <li>・施設の大規模修繕工事を見据えた資料の除籍と有効活用</li> <li>・若林図書館大規模修繕工事にかかる臨時窓口開設によるサービスの提供（令和6年度）</li> <li>・移動図書館や電子図書館の運営、オンラインによるサービスの提供（再掲）</li> <li>・雑誌スポンサー事業による収益の取組み</li> <li>・「せんだいクリーニングシェルター」としての施設の開放（令和6年度）</li> <li>・無償譲渡会開催による除籍済資料の有効活用（再掲）と譲渡先の拡大（令和5年度～）</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">除籍本有効活用図書</th> <th style="text-align: center;">令和3年度</th> <th style="text-align: center;">令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">児童書（提供箇所・提供数）</td> <td style="text-align: center;">37カ所・2,649冊</td> <td style="text-align: center;">37カ所・2,622冊</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">一般書（提供箇所・提供数）</td> <td style="text-align: center;">3カ所・711冊</td> <td style="text-align: center;">12カ所・1,762冊</td> </tr> </tbody> </table>	除籍本有効活用図書	令和3年度	令和6年度	児童書（提供箇所・提供数）	37カ所・2,649冊	37カ所・2,622冊	一般書（提供箇所・提供数）	3カ所・711冊	12カ所・1,762冊			
除籍本有効活用図書	令和3年度	令和6年度											
児童書（提供箇所・提供数）	37カ所・2,649冊	37カ所・2,622冊											
一般書（提供箇所・提供数）	3カ所・711冊	12カ所・1,762冊											
②協議会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共図書館としての理念と方針のもと直営館と指定管理館の相乗効果を高めていくことが必要であり、まずは均衡なサービスをベースとし、それぞれの役割、特色を生かした取組みを期待したい。</li> <li>・図書館のあり方というのは、変わらない部分と社会が変わることによって変わっていく部分と両方がある。限られた資源の中でそのバランスを取っていくことが大事だ。</li> </ul>												
③今後の取組み等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共図書館として安定的なサービス提供のため、適切な蔵書構成の維持に努める。</li> <li>・利用者カードの電子化等、利便性向上に資するよう、図書館システムを刷新する。</li> <li>・大規模修繕工事にかかる進捗管理や休館中のサービス提供等について適切に対応する。</li> <li>・指定管理者の公募・選定等の対応を適切に行うとともに、直営館の機能強化を図る。</li> <li>・図書館資源としての図書館施設の活用の拡充を検討する。</li> <li>・雑誌スポンサー事業を含め、今後の財源創出に向けた手法の調査・研究を行う。</li> <li>・来館型・非来館型サービスの適切な運用を進める。</li> </ul>												
<b>(4) 図書館サービスの評価・分析を行いながら図書館経営を行います</b>													
<b>【評価】</b> ○													
①事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度ごとの事業報告書作成と、図書館協議会の意見を付しての公表</li> <li>・仙台市教育振興基本計画に基づく点検・評価による事業の進捗管理</li> <li>・指定管理運営モニタリング評価の実施とホームページでの公開</li> <li>・利用者懇談会、アンケート、意見箱設置等による利用者ニーズや市民意見の把握と、運営やサービス改善への活用</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">令和3年度</th> <th style="text-align: center;">令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">窓口サービスアンケート（直営館）</td> <td style="text-align: center;">4館・872件</td> <td style="text-align: center;">4館・613件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">利用者アンケート（指定管理館）</td> <td style="text-align: center;">3館・1,069件</td> <td style="text-align: center;">3館・860件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ご意見箱への投函</td> <td style="text-align: center;">7館・164件</td> <td style="text-align: center;">7館・165件</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 仙台市の図書館に関するアンケート調査（令和6年度）1,104件 * 市政モニターアンケート（令和6年度）349件</p>		令和3年度	令和6年度	窓口サービスアンケート（直営館）	4館・872件	4館・613件	利用者アンケート（指定管理館）	3館・1,069件	3館・860件	ご意見箱への投函	7館・164件	7館・165件
	令和3年度	令和6年度											
窓口サービスアンケート（直営館）	4館・872件	4館・613件											
利用者アンケート（指定管理館）	3館・1,069件	3館・860件											
ご意見箱への投函	7館・164件	7館・165件											

②協議会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の業務は短時間で成果が出るのではなく、数値化できない部分も大きい。数値では結果をはかれない未来への投資という面がある図書館のあり方というのは、本当に難しい。</li> <li>・アンケート調査で多様な意見をいただき、すべての要望に対応するのは難しいだろうが、厳しい意見が少しでも減り、温かい意見が少しでも増えるように図書館協議会の議論や図書館運営において、考えていかなければならない。</li> <li>・時代が変わると求められる図書館の姿も変わる。今の図書館は本を借りる場所というだけでなく、交流ができる場としての役割も求められている。これからは多様性の時代であるので、様々なことを考えながら図書館を運営していかなければならない。</li> </ul>	
③今後の取組み等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業報告書に基づく図書館協議会による事業評価や、仙台市教育振興基本計画に基づく点検・評価の結果を踏まえ、事業の進捗管理や図書館サービスの向上に取り組む。</li> <li>・指定管理運営モニタリング評価等を実施し、図書館サービスの向上に活用する。</li> <li>・アンケートや意見箱等で把握した市民による評価や意見を図書館運営に生かす。</li> </ul>	
<b>(5) 図書館職員に求められる資質と専門性の向上に努めます</b>		<b>【評価】</b> ○
①事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国立国会図書館等の専門機関や関連機関が実施する研修への参加</li> <li>・市民図書館や各館及び指定管理者による職員研修の企画・実施</li> </ul>	
②協議会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館は決して本の貸し借りをするだけの場所ではなく、大事なのは司書の存在である。図書館システム等の管理運営にしても司書の知識がないとできない。司書の専門性を持った職員を採用して育てていくことが大事だ。</li> <li>・年間を通じて、様々な研修を通して人材育成を丁寧に行っている。直営館、指定管理を問わず、研修を受けることで、機能強化につなげてほしい。</li> <li>・「ほんのトーク」は小規模であるが、本を通じたコミュニティができていて居場所でもあり、自分が発信する舞台でもある。それをリードする職員（司書）の豊かな知識と巧みなファシリテーション力に感服した。このような専門職としての力を育てていくことは大事なことだ。他館とも情報共有しながら互いに人材を育成し合っていく関係性であってほしい。</li> <li>・現場の資質、能力が高い司書と一緒に仕事を行うことで人材育成が可能だろう。若い世代の子たちが現場で働く職員の姿を見て、将来の職業選択のモデルになっていってほしい。</li> </ul>	
③今後の取組み等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内外を問わず、研修に積極的に参加し、職員の資質と専門性の向上を図る。</li> <li>・キャリア別、領域別の研修を計画的に企画・実施し、職員のスキルアップを図る</li> <li>・庁内の関連部署等と連携して事業を推進できる職員の育成に取り組む。</li> <li>・OJTの実施や研修内容の共有等により、図書館サービスの継承と発展を図る。</li> </ul>	